

作成日 2001年 4月 1日

改訂日 2015年10月9日

安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	ポリ塩化アルミニウム
会社名	小厚化成株式会社
住所	大阪市浪速区恵美須西2丁目9番13号
担当部門	管理部 品質管理課
電話番号	06-6643-2100
緊急時の電話番号	06-6643-2100
FAX番号	06-6643-2104
整理番号	K-010

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
健康に対する有害性

皮膚腐食性・刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷・ 眼刺激性	区分2B

環境に対する有害性

上記で記載のない危険有害性は分類対象外、分類できない、または区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル	なし
注意喚起語	警告
危険有害性情報	軽度の皮膚刺激 軽度の眼への刺激

注意書き

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。
適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【救急措置】

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断・手当てを受けること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

3. 組成及び成分情報

化学物質

化学名又は一般名	ポリ塩化アルミニウム
別名	PAC
化学特性（化学式等）	$[Al_2(OH)_nCl_{6-n}]_m$ 但し、 $0 \leq n \leq 6$ 、 $m \leq 10$
CAS番号	1327-41-9
官報公示整理番号 （化審法・安衛法）	(1)-12（塩化アルミニウム） (1)-47（水酸化アルミニウム）
濃度又は濃度範囲	酸化アルミニウム 10.0～10.7%

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、必要に応じて医師の手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。皮膚刺激が生じた場合、医師に連絡すること。

目に入った場合

水と石鹼で洗うこと。
直ちに多量の水で15分以上洗い流し、必要に応じて医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。

予想される急性症状及び
遅発性症状

眼・皮膚・喉に激しい刺激、薬傷、炎症、喘息様症状。

最も重要な兆候及び症状
応急措置をする者の保護
医師に対する特別注意事項

データなし
適切な保護具を着用する。
データなし

5. 火災時の措置

消火剤

不燃性にて該当せず。

特有の危険有害性

高温で分解して、塩化水素ガスを発生する。

特有の消火方法

不燃性にて該当せず。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および
緊急措置

作業者は適切な保護具を着用し、眼・皮膚への接触を避ける。

環境に対する注意事項

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
密閉された場所に立入る前に換気する。
環境への放出を避けること。
万一、大量に流出し、一般市民、水生生物への影響が懸念される場合は、直ちに関係官庁、供給者へ連絡する。

回収・中和

流出物はできる限り空容器に回収する。回収不能分は、消石灰、炭酸カルシウム、ソーダ灰などを用いて中和する。

封じ込め及び浄化方法・機材
二次災害の防止策

危険でなければ漏れを止める。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い 技術的対策

局所排気及び全体排気設備を設ける。保護具を着用する。

局所排気・全体換気

局所排気及び全体排気設備を設ける。

安全取扱い注意事項

取扱い後はよく手を洗うこと。
眼・皮膚・衣類への接触を避けること。
容器を密閉して、換気の良い場所で保管すること。
塩化ビニル、ポリエチレン、FRP、ゴムライニング等必要な強度を持った耐酸性の容器に保管。

保管

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
日本産衛学会 (2005年版)	設定されていない ¹⁾
ACGIH (2005年版)	TLV-TWA 2mg/m ³ (Alとして) ²⁾
設備対策	局所排気及び全体排気設備を設ける。
保護具	
呼吸器の保護具	適切な呼吸器保護具を着用する。
手の保護具	適切な保護手袋を着用する。
眼の保護具	適切な保護眼鏡を着用する。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状	外観	無色ないし黄色がかった薄い褐色の透明液体
	臭い	無臭
	pH	3.5～5.0
融点・凝固点		データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲		102～106℃
引火点		該当しない
自然発火温度		該当しない
燃焼性 (固体、ガス)		該当しない
爆発範囲		該当しない
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
蒸発速度 (酢酸ブチル=1)		データなし
比重 (密度)		1.19～1.21 / 20℃
溶解度		混和する
オクタノール・水分配係数		データなし
分解温度		データなし
粘度		データなし
粉じん爆発下限濃度		データなし
最小発火エネルギー		データなし
体積抵抗率 (導電率)		データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常 of 取扱い条件においては安定である。
危険有害反応可能性	アルカリ添加によりpHを上げると白濁し、沈殿物を生成する。
混触危険物質	次亜塩素酸塩類 (次亜塩素酸ソーダ、漂白剤、さらし粉等) と混合、接触すると有毒な塩素ガスが発生する。
避けるべき条件	保管時は鉄等の酸性腐食容器を使用しない。
危険有害な分解生成物	酸との混合により塩素ガスが発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	マウス 経口 72時間 LD ₅₀ 12790 mg/kg ²⁾
	マウス 腹腔 72時間 LD ₅₀ 1290 mg/kg
皮膚腐食性・刺激性	皮膚に軽度の刺激性がある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼に軽度の刺激性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	データなし
生殖細胞変異原性	Ames試験 陰性 ³⁾
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
特定標的臓器・全身毒性	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし

12. 環境影響情報

水生生物に対する毒性⁴⁾

ヤマメ LC₅₀ 565 mg/l

ヒメダカ LC₅₀ 725 mg/l

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

消石灰、炭酸カルシウム、ソーダ灰などを加えて中和した後に廃棄する。

廃棄においては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

汚染容器及び包装

容器は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 国連分類

国内規制 陸上規制情報

海上規制情報

航空規制情報

特別安全対策

該当なし

労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。

船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空法に定められている運送方法に従う。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称を通知すべき有害物

法第57条の2、施行令第18条の2別表第9

毒物及び劇物取締法

毒劇物に該当しない

海洋汚染防止法

施行令別表第1 有害液体物質

(Z類 ポリ塩化アルミニウム溶液)

化学物質管理促進法

指定化学物質に該当しない

16. その他の情報

参考文献

1) 産業衛生学雑誌、Vol.37 (1995)

2) NIOSH、Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (1994-95)

3) 中央労働災害防止協会、微生物を用いる変異原性試験報告書: No.6092 (1999)

4) (財)化学品検査協会、化学品安全協会における試験結果

5) 魚類と水中生物に及ぼす化学品の毒性データ

問合せ先

小厚化成株式会社 TEL 06-6643-2100

記載内容の取り扱い

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。